

柳広司「ジョーカー・ゲーム」シリーズ累計 100 万部突破!! 最新作『ラスト・ワルツ』発売!!

柳広司著「ジョーカー・ゲーム」が累計100万部を突破いたしました！さらに、最新作『ラスト・ワルツ』も2015年1月17日に発売となります。



シリーズ第1弾『ジョーカー・ゲーム』2015年1月31日映画公開
2015年の大本命! 「ジョーカー・ゲーム」シリーズ最新作!
ラスト・ワルツ 著: 柳広司

【発売予定】2015年1月17日 【定価】本体 1400円+税 【頁予定】232頁
【装画】森美夏 【装丁】鈴木久美 【体裁】四六判・セミハード
【発行】株式会社 KADOKAWA 【編集】角川書店

<シリーズ特設サイト> <http://www.kadokawa.co.jp/sp/jokergame/>



疾走する特急車内、仮面舞踏会、ドイツの映画撮影所——。
加速する頭脳戦、ついに最高潮へ!
日本最高峰のスパイ・ミステリ

【内容紹介】

華族に生まれ、陸軍中将の妻となるが退屈な生活に倦んでいる顕子。米大使館で催された仮面舞踏会の会場で、なぜか、ある男のことがしきりに思い出された。目に見えぬ黒い大きな翼を背負っているかのような、謎の男。かつて窮地を救ってくれた彼と、いつか一緒に踊ることを約束したのだった。だが、男のことを調べると意外な事実が浮かび上がり……（「舞踏会の夜」）。

疾走する特急車内。「スパイ殺し」を目的としたソ連の秘密諜報機関“スメルシュ”に狙われるD機関の諜報員を描く「アジア・エクスプレス」、ドイツの映画撮影所で、ナチスの宣伝大臣ゲッベルスと対峙した日本人スパイを描く「ワルキューレ」を収録。

【初出】「小説 野性時代」2014年9月号～11月号、2015年1月号

“魔王”の異名を持つ結城中佐が作り上げた、スパイ養成組織“D機関”。
世界各国で展開する“究極の騙し合い”に生き残れ。

人間性を極限まで捨て去ったスパイたちの非情と
冷徹を描いた作品だが、読後感は不思議と心地よい。
奇跡的な一冊。

——ミステリ評論家 村上貴史

人知れず展開されるトリッキーな謀略戦。
スパイの技術とは歴史のうねりの蔭でひっそりと咲く儂い華だ。

——ミステリ評論家 千街晶之

時が過ぎ、情勢が変わろうと揺るがぬ、スパイたちの鋼の自負を見よ!
より深みを増した、シリーズ屈指の豊穡なる一冊だ!!

——ときわ書房本店 宇田川拓也



まだ誰も見たことがない「ジョーカー・ゲーム」シリーズ、ここに開幕。——柳広司

<映画情報>

映画『ジョーカー・ゲーム』 2015年1月31日全国公開!! 監督:入江悠/出演:亀梨和也 伊勢谷友介 深田恭子

公式サイト <http://jokergame-movie.com/>

【著者プロフィール】柳広司(やなぎ・こうじ)

1967年生まれ。2001年、『黄金の灰』でデビュー。同年、『贗作「坊っちゃん」殺人事件』で第12回朝日新人文学賞を受賞。09年、『ジョーカー・ゲーム』で第30回吉川英治文学新人賞と第62回日本推理作家協会賞(長編及び連作短編集部門)をダブル受賞。他著に「ジョーカー・ゲーム」シリーズ第2弾『ダブル・ジョーカー』第3弾『パラダイス・ロスト』、『新世界』、『トーカー・プリズン』、『ロマンス』、『キング&クイーン』、『楽園の蝶』、『ナイト&シャドウ』などがある。

「ジョーカー・ゲーム」シリーズ紹介 ※表紙画像はすべて角川文庫Ver.です。

第1弾 ジョーカー・ゲーム



- ◎第62回 日本推理作家協会賞 長編及び連作短編集部門
- ◎第30回 吉川英治文学新人賞受賞
- ◎「このミステリーがすごい! 2009年度版」(宝島社)【国内編】第2位
- ◎2008年「週刊文春ミステリーベスト10」【国内部門】第3位
- ◎2009年「本屋大賞」第3位

<物語>

結城中佐の発案で陸軍内に設立されたスパイ養成学校“D機関”。超難関試験を突破した一期生は、外国語、学問はもちろんのこと、爆薬や無電の扱い方、変装術、女の口説き方など多様な訓練を受け、長髪、背広姿で互いを偽名で呼び合った。「スパイとは“見えない存在”であること」、「殺人及び自死は最悪の選択肢」、これが、結城が訓練生に叩き込んだ戒律だった。軍隊組織の信条を真っ向から否定する“D機関”の存在は、当然、猛反発を招いた。だが、頭脳明晰、実行力でも群を抜く「魔王」——結城中佐は、魔術師の如き手さばきで諜報戦の成果を上げ、陸軍内の敵をも出し抜いてゆく。東京、横浜、上海、ロンドンで繰り広げられる最高にスタイリッシュなスパイ・ミステリ。

(解説・佐藤優)

第2弾 ダブル・ジョーカー



- ◎「一個人 “読書のプロ”カリスマ書店員が選ぶ 2009年最高に面白い本ベスト10」【ミステリー部門 BEST10・国内】第1位
- ◎「このミステリーがすごい! 2010年版」(宝島社)【国内編】第2位
- ◎2009年「週刊文春 ミステリーベスト10」【国内部門】第2位
- ◎「ミステリが読みたい! 2010年度版」(ミステリマガジン編集部編)【国内篇】第2位

<物語>

結城中佐率いる“D機関”の暗躍の陰で、もう一つの秘密諜報機組織“風機関”が設立された。だが、同じカードは二枚も要らない。どちらかがスペアだ。“D機関”の追い落としを謀らんとする風機関に対し、結城中佐が放った驚愕の一手とは——。

表題作「ダブル・ジョーカー」ほか、“魔術師”のコードネームで伝説となったスパイ時代の結城を描く「枢」など、5篇を収録。単行本未収録作「眠る男」特別収録!

第3弾 パラダイス・ロスト



異能のスパイが、世界を騙す!

D機関の元締め(スパイ・マスター)、結城の過去が明らかに!?
ベストセラー「ジョーカー・ゲーム」シリーズ、第3弾!

<物語>

大日本帝国陸軍内にスパイ養成組織“D機関”を作り上げ、異能の精鋭たちを統べる元締め(スパイ・マスター)、結城中佐。その正体を暴こうとする男が現れた。英国タイムズ紙極東特派員アーロン・プライス。結城の隠された生い立ちに迫るが……(「追跡」)。ハワイ沖の豪華客船を舞台にした初の中篇「暗号名ケルベロス」を含む全5篇。世界各国、シリーズ最大のスケールで展開する。究極の頭脳戦! 「ジョーカー・ゲーム」シリーズ、待望の第3弾。

以上